



## 2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 株式会社デリバリーコンサルティング 上場取引所 東  
 コード番号 9240 URL <https://www.deliv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 阪口 琢夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CEO (氏名) 内藤 秀治郎 TEL 03(6779)4474  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年7月期第3四半期の連結業績（2025年8月1日～2026年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	2,162	8.1	167	497.7	176	375.8	130	595.7
2025年7月期第3四半期	2,000	△3.5	27	△86.9	37	△82.6	18	△88.0

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 127百万円 (578.9%) 2025年7月期第3四半期 18百万円 (△88.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	26.99	24.28
2025年7月期第3四半期	3.91	3.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	1,635	1,248	76.3
2025年7月期	1,484	1,112	74.9

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 1,247百万円 2025年7月期 1,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年7月期	—	0.00	—		
2026年7月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,098	13.0	172	233.2	180	199.4	130	273.8	27.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年7月期3Q	4,860,200株	2025年7月期	4,855,300株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	21,802株	2025年7月期	34,676株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年7月期3Q	4,831,958株	2025年7月期3Q	4,789,911株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向に加え、金融資本市場の変動等が景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業は、クライアントのデジタルプラットフォーム構築のハブとなるDXパートナーとして、クラウドネイティブ環境、生成AIやデータ分析基盤、さらには業務プロセス自動化ソリューションなどのテクノロジーを活用し、クライアントのビジネスモデル変革や新たなサービス開発に最適なシステム像を描き、クライアントの企業価値の最大化に貢献してまいりました。

当第3四半期連結累計期間において、売上面では、資本業務提携先である日鉄ソリューションズ株式会社をはじめとしたパートナーとの協業拡大により前期比を上回りましたが、増収ペースはやや緩やかとなりました。加えて原価面では、コンサルタントの稼働率が向上したことで外注委託費を抑制しております。一方採用面では、当第3四半期連結会計期間中に新卒、中途を合わせ40名近くの社員を採用しましたが、業界全体の人材需給の逼迫を背景に採用計画を下回り、結果として、販管費は予算内の水準で推移いたしました。以上の結果、営業利益は当初計画を上回る水準で着地いたしました。引き続き、当第3四半期連結累計期間に注力してきた上記取り組みの更なる推進、コンサルティングサービスの拡充による収益の多様化、ならびに戦略的な人材採用の推進を通じて、通期業績予想の達成を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績については、売上高は2,162,948千円（前年同期比8.1%増）、営業利益は167,308千円（前年同期比497.7%増）、経常利益は176,052千円（前年同期比375.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は130,397千円（前年同期比595.7%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントはデジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,446,034千円となり、前連結会計年度末に比べ140,114千円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が67,943千円、前払費用が9,232千円減少した一方、現金及び預金が210,826千円増加したことによるものであります。固定資産は189,882千円となり、前連結会計年度末に比べ11,467千円増加いたしました。これは主に、業務用機器の調達等により有形固定資産が10,467千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,635,916千円となり、前連結会計年度末に比べ151,581千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は366,261千円となり、前連結会計年度末に比べ23,671千円増加いたしました。これは主に契約負債が38,979千円減少した一方、未払法人税等が21,881千円、役員賞与引当金が18,668千円、その他に含まれる未払金が26,767千円増加したことによるものであります。

固定負債は20,696千円となり、前連結会計年度末に比べ8,425千円減少いたしました。これは主に、長期借入金金が8,577千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は386,958千円となり、前連結会計年度末に比べ15,245千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,248,958千円となり、前連結会計年度末に比べ136,336千円増加いたしました。これは主に、譲渡制限付株式報酬として処分したため自己株式が10,532千円減少したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益を130,397千円計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月12日に公表いたしました業績予想の数値に変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、さまざまな要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	860,933	1,071,760
売掛金及び契約資産	347,839	279,895
商品	1,063	2,523
仕掛品	136	449
その他の棚卸資産	134	94
前払費用	79,947	70,714
その他	17,753	22,092
貸倒引当金	△1,889	△1,496
流動資産合計	1,305,919	1,446,034
固定資産		
有形固定資産	64,103	74,570
無形固定資産		
その他	13,659	11,009
無形固定資産合計	13,659	11,009
投資その他の資産		
その他	100,653	104,302
投資その他の資産合計	100,653	104,302
固定資産合計	178,415	189,882
資産合計	1,484,334	1,635,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	70,721	52,960
1年内返済予定の長期借入金	17,234	11,436
未払法人税等	12,445	34,326
契約負債	75,711	36,731
賞与引当金	68,776	52,942
役員賞与引当金	—	18,668
その他	97,701	159,195
流動負債合計	342,590	366,261
固定負債		
長期借入金	12,337	3,760
資産除去債務	16,785	16,936
固定負債合計	29,122	20,696
負債合計	371,712	386,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,460	158,708
資本剰余金	193,841	191,791
利益剰余金	788,827	919,224
自己株式	△28,369	△17,837
株主資本合計	1,112,759	1,251,886
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,427	△4,218
その他の包括利益累計額合計	△1,427	△4,218
新株予約権	1,290	1,290
純資産合計	1,112,622	1,248,958
負債純資産合計	1,484,334	1,635,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
売上高	2,000,812	2,162,948
売上原価	1,224,093	1,301,430
売上総利益	776,718	861,518
販売費及び一般管理費	748,725	694,209
営業利益	27,993	167,308
営業外収益		
受取利息	20	27
助成金収入	10,000	4,113
為替差益	—	3,996
その他	160	794
営業外収益合計	10,180	8,931
営業外費用		
支払利息	377	187
為替差損	793	—
その他	0	—
営業外費用合計	1,171	187
経常利益	37,002	176,052
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	37,002	176,052
法人税、住民税及び事業税	808	47,019
法人税等調整額	17,451	△1,364
法人税等合計	18,259	45,655
四半期純利益	18,743	130,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,743	130,397

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
四半期純利益	18,743	130,397
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	52	△2,791
その他の包括利益合計	52	△2,791
四半期包括利益	18,795	127,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,795	127,605

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月29日開催の取締役会決議に基づき、2025年11月21日に譲渡制限付株式報酬として自己株式12,900株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が10,554千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が17,837千円となっております。

また、自己株式処分に伴い、資本剰余金が2,298千円減少しました。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
当座貸越極度額	200,000千円	200,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	200,000	200,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	15,015千円	16,441千円

(追加情報)

(譲渡制限付株式報酬)

当社は、2023年9月27日開催の取締役会において、当社取締役（社外取締役を除く。以下、「対象取締役」といいます。）を対象に、当社の持続的な企業価値増大への貢献意欲を従来以上に高め、対象取締役と株主の皆様との価値共有を進めることを目的として、新たな報酬制度として譲渡制限付株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）の導入を決議しております。また、2023年10月27日開催の第21期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、対象取締役に対して年額40,000千円以内の金銭報酬債権を支給すること、また、当社が新たに発行又は処分する普通株式の総数は、年80,000株以内とすること等につき、ご承認をいただいております。

そのうえで、当社は、2025年10月29日開催の取締役会において、当社の取締役を対象とし、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことについて決議し、2025年11月21日に払込手続きが完了いたしました。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年8月1日 至2025年4月30日）

当社グループは、デジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年8月1日 至2026年4月30日）

当社グループは、デジタルトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。